

1・はじめに

私は 8 月 8 日から 28 日まで行われた韓国の釜山大学のサマープログラムに参加しました。参加が決まってからの約 2 カ月は韓国の歴史を学んだり、韓国語を勉強したり準備をしていました。本プログラムの参加者は、日本人 14 名、中国人 4 名、イギリス人 3 名でした。釜山に到着してからは、私達留学生のお世話をしてくれる釜山大学の学生たち 10 名がおり、私達はこのバディー達に最初から最後まで、大変お世話になりました。

2・寮での生活

私は同じプログラムの参加者の台湾人と同室になりました。彼女は母国語の中国語だけではなく、日本語、韓国語、英語、フランス語？も話すことができます。部屋では日本語で話をしていて、少し申し訳なかったのですが、彼女と同室で毎日とても楽しく過ごすことができました。寮の部屋は十分広く、快適に過ごすことができます。無線ランが完備されているので、パソコンを持って行けば部屋でネットも自由に使うことができますし、24 時間利用可能のコンピュータ室もあります。ランドリー室や、コンビニもあるので寮の生活で不自由に思うことはほとんどないと思います。

しかし 1 つだけ辛かったのは、私は北海道出身であるからか、冷房に慣れておらず、部屋や教室でいつも震えていました。すぐにパーカを買って毎日着ていました。プログラム期間は真夏でしたが、外を歩くとき以外はほとんど暑いという思い出はありません。

最後に、食事についてですが、最初の 1 週間は寮の食堂で 3 食食べることができます。しかし、その後は食堂が閉鎖されてしまい、朝食のみ弁当が支給されますが、昼と夜は各自でとらなければなりません。昼は授業を受ける場所と釜山大学の下に広がるダウンタウンが近いため、みんなで食事に行きました。夜もほぼ毎日友人たちとダウンタウンで食事をしました。安くて美味しいお店がたくさんあり、2 週間では回りきることができません。

3・授業について

韓国語の授業は月～木曜日まで、午前中に 3 時間、お昼休みを挟み、午後に 2 時間半あります。クラスは初級と中級の 2 つに分かれており、私は初級クラスに所属しました。初級クラスはカナダラ(韓国のあいうえお)から始まり、最終的には簡単な会話ができるようにまで上達します。授業は英語で行うとのことでしたが、実際は英語と韓国語の混じった授業でした。私は韓国語を少し勉強していたので、楽しく学習することができましたが、まるきり 1 から始める人には少し厳しいかもしれません。また、毎日授業があり、どんどん進んでいくので復習をしなければなりません。中級クラスにはかなり話せる学生が何名かおり、本格的な授業であったそうです。

4・アクティビティー・フィールドトリップについて

毎週水曜日にはアクティビティーという韓国の伝統文化を体験できる時間があります。私達は、K-POP を踊ったり、伝統衣装の韓服(ハンボック)を着たり、ビビンバ、ファージュン作りを体験しました。体験をする前に歴史と一緒に学ぶので、より深く味わうことができます。どれも貴重な体験でした。

フィールドトリップでは、最初の週に韓国を代表する企業、現代(ヒュンダイ、自動車会社)とポスコ(製鉄会社)の見学をしました。最後の週には巨大な屋外プールに行きました。アクティビティーもフィールドトリップも前年と内容が変わって、工夫されていました。どれもとても楽しむことができました。



5・休日の過ごし方

土曜と日曜日は授業が無いので、各自自由に過ごすことができます。韓国に来る前にオプションとして、ホームステイと1泊2日の済州島の観光をそれぞれ申し込むことができます。私はどれにも参加しませんでした。行けば良かったかな、と少し後悔をしています。私は釜山市内の観光をしたり(有名なビーチ海雲台や歴史文化都市の慶州、市場などたくさんあります)、日帰りで KTX に乗ってソウルの観光をするなど、有意義に過ごすことができます。



6・最後に

3週間という短い時間でしたが、毎日密度の濃い時間を過ごし、私の中で一生忘れることのできない夏になりました。このプログラムの中で、私は韓国の歴史や文化だけではなく人との関わりや、絆について多くのことを学び、得ることで私自身大きく成長できたと思っています。今回、私は英語も韓国語もあまり話すことができず伝えたいことを伝えることができずに、何度ももどかしい思いをしました。その中でもやはり英語は共通語であることを実感し、必要性を感じました。今回バイリンガル、トライリンガルの友人達を見て、私自身モチベーションが高まり、英語と韓国語の勉強をしています。帰国してからも多くの友人たちと連絡を取り合っており、またみんなで再会することを約束しました。次は日本語を使わないで会話ができるようにしたいです。また、国際交流にも興味を持ち、身近なところから始めて、多くの人と関わりたいです。

最後になりますが、このプログラムに参加するにあたって、さまざまな協力をしてくださった方々、このプログラムに携わる全ての方々に感謝いたします。감사 합니다.



企業見学のあと
韓服を着る私



寮の部屋
最後に参加者全員で

